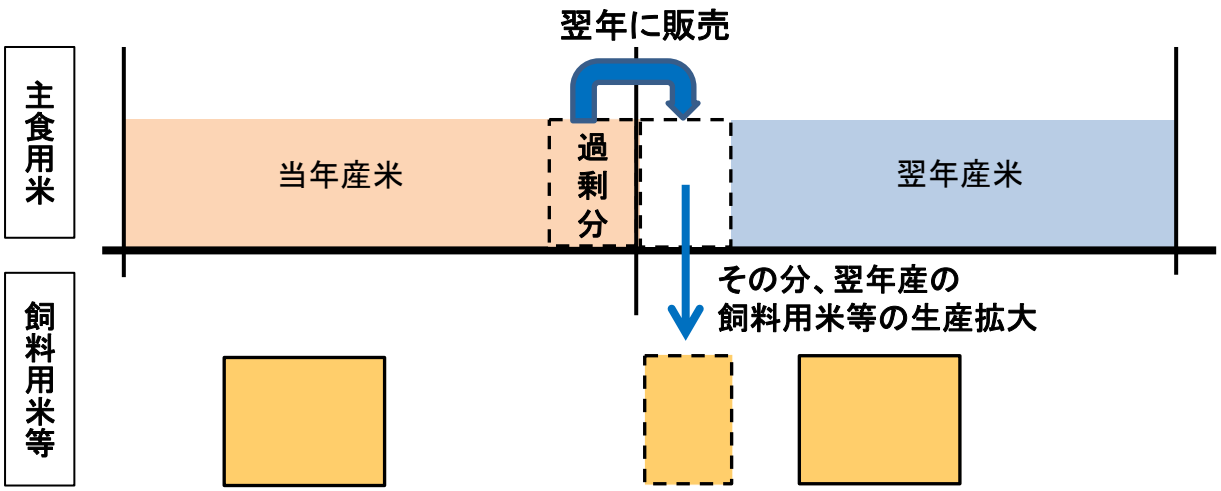
（7）主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

①　主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：令和３年度予算概算決定額50億円（前年度：50億円））
- 必要がある場合に、この支援措置を活用して、過剰分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。
（水田活用の直接支払交付金：令和３年度予算概算決定額 3,050億円（前年度：3,050億円））



②　米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム（令和3年度予算概算決定ベース）

＜対策のポイント＞
生産者、集荷業者・団体の自主的な取組により需要に応じた生産・販売が行われる環境を整備し、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や輸出用など他用途への販売を行う取組等を実施する体制を構築するため、**民間主導のコメの周年供給・需要拡大等に対する取組を支援。**

＜政策目標＞
生産者、集荷業者・団体による自主的な経営判断や販売戦略に基づく、需要に応じた米の生産・販売の実現。

＜事業の内容＞

全国事業

1．業務用米、輸出用米等の安定取引拡大支援
産地と中食・外食事業者等との安定取引を拡大するため、**民間団体が行う業務用米や輸出用米の生産・流通の拡大に向けた展示商談会等を支援**します。

産地

2．周年供給・需要拡大支援
産地において、あらかじめ生産者等が積立てを行い、以下の取組を実施する場合に支援します。
① 主食用米を**翌年から翌々年以降に長期計画的に販売**する取組（収穫前契約、複数年契約の場合は追加的に支援。酒造好適米の保管経費の支援対象期間を拡大。）
② 主食用米を**輸出向けに販売する際の商品開発、販売促進等**の取組
③ 主食用米を**業務用向け等に販売する際の商品開発、販売促進等**の取組
④ 主食用米を**非主食用へ販売**する取組
また、米の流通合理化を進めるため、玄米の推奨規格フレコンを活用した**輸送モデル実証**を支援します。

＜事業の流れ＞

＜事業イメージ＞

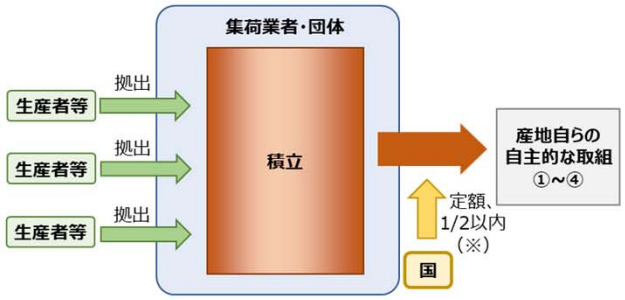
1．業務用米、輸出用米等の安定取引拡大支援

〔業務用米取引セミナー〕

〔展示商談会〕

〔輸出用米商談会〕

2．周年供給・需要拡大支援



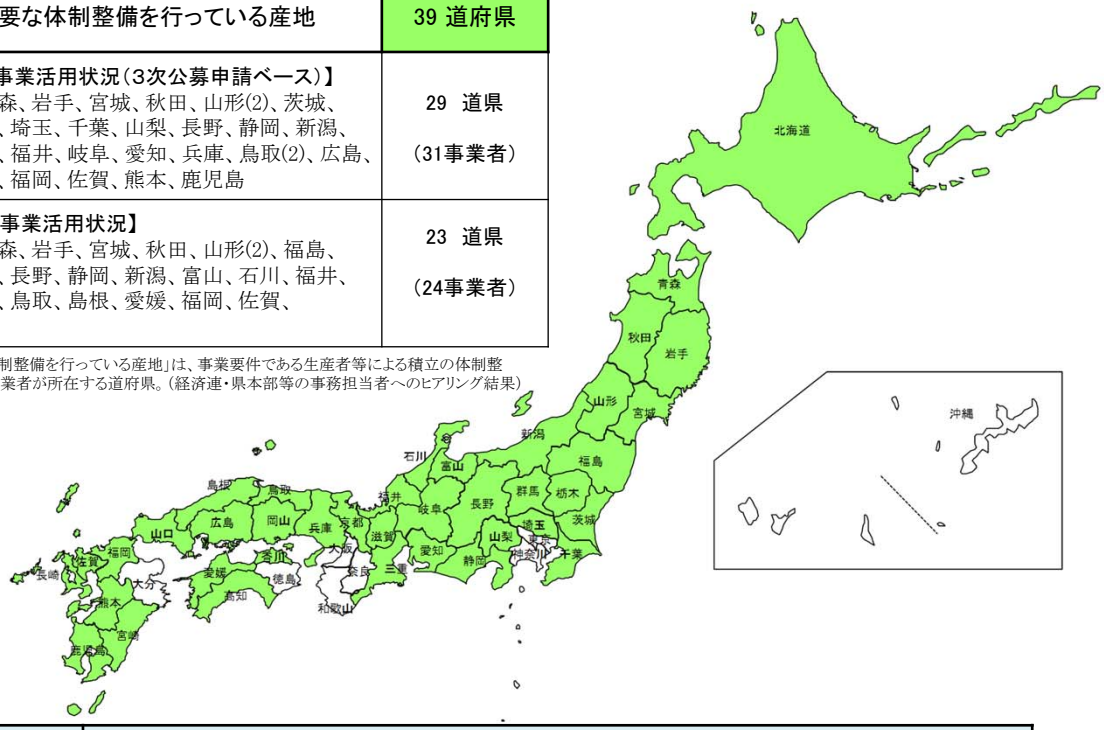
（※）　値引きや価格差補てんのための費用は支援の対象外。

③　米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備状況

- 米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備は、39道府県の44事業者において行われている状況。
- 令和２年度（３次公募申請ベース）は29道県（31事業者）が事業を活用（令和元年度は23道県（24事業者）が事業を活用）。
- 出来秋の需給対策として、今後とも本事業を継続･推進。

事業に必要な体制整備を行っている産地	39 道府県
【令和2年度事業活用状況（3次公募申請ベース）】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形(2)、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、山梨、長野、静岡、新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知、兵庫、鳥取(2)、広島、山口、愛媛、福岡、佐賀、熊本、鹿児島	29 道県 （31事業者）
【令和元年度事業活用状況】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形(2)、福島、栃木、山梨、長野、静岡、新潟、富山、石川、福井、愛知、兵庫、鳥取、島根、愛媛、福岡、佐賀、鹿児島	23 道県 （24事業者）

注）「事業に必要な体制整備を行っている産地」は、事業要件である生産者等による積立の体制整備等を行っている事業者が所在する道府県。（経済連・県本部等の事務担当者へのヒアリング結果）



主な産地	これまでの主な取組概要
北海道	**【長期計画的販売の取組】** ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 **【輸出向けへの販売促進等の取組】** ・ 海外向け北海道米PRパンフレットの作成配布 **【業務用向け等への販売促進等の取組】** ・ 各種メディア及びイベントを活用した北海道産米のPR ・ 認知度向上に向けた情報収集、データ分析による販路拡大手法の検討
秋田	**【長期計画的な販売の取組】** ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 **【業務用向け等への販売促進等の取組】** ・ 各種メディア及びイベントを活用した秋田県産米のPR ・ 食味分析データを用いた販売促進パンフレットの作成配布 ・ 外食事業者等が参加する各種商談会での試食等の実施
山形	**【輸出向けへの販売促進等の取組】** ・ 海外百貨店等での「つや姫」、「はえぬき」PRキャンペーンの開催 **【業務用向け等への販売促進等の取組】** ・ 各種メディア及びイベントを活用した山形県産米のPR ・ 販路拡大に向けたコンサルティング活動
新潟	**【長期計画的な販売の取組】** ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 **【業務用向け等への販売促進等の取組】** ・ 各種メディア及びイベントを活用した新潟県産米のPR ・ JRエキナカ店舗との連携による販売促進活動の実施 ・ インターネット調査による新潟県産米の認知度・消費者ニーズ等の把握
石川	**【長期計画的販売の取組】** ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 **【輸出向けへの販売促進等の取組】** ・ 現地市場等調査による実需者ニーズの把握や石川県産米パンフレットの作成配布 **【業務用向け等への販売促進等の取組】** ・ 各種メディア及びイベントを活用した石川県産米のPR ・ 毎月２日を「おにぎりの日」に制定し、これを起点にした試食イベント等の開催

（8）コメ海外市場拡大戦略プロジェクト（平成29年９月８日公表）

我が国のコメの消費量が毎年約10万トン減少していく中で、食料自給率・食料自給力の向上や米農家の所得向上を図っていくためには、海外市場に積極的に進出し、輸出を拡大していくことが喫緊の課題。
→ このため、平成29年９月に「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」を立ち上げ、コメの輸出量を飛躍的に拡大するため、戦略的に輸出に取り組む関係者を特定し、それらが連携した個別具体的な取組を強力に後押しする。

（1）戦略的輸出事業者

令和元年に向けた飛躍的な輸出目標を掲げ、コメ輸出の戦略的な拡大に取り組む輸出事業者を「戦略的輸出事業者」として特定。

「戦略的輸出事業者」と連携して、輸出用米の安定的な生産に取り組む「戦略的輸出基地」づくりを推進

「戦略的輸出事業者」等と連携したプロモーション等により、輸出先国における日本産米の需要を拡大

産地と事業者の結びつきの強化・拡大

連携したプロモーション等の実施

（2）戦略的輸出基地（産地）

輸出産地としての取組方針を掲げ、輸出用米の安定的な生産に取り組む産地（法人・団体）を「戦略的輸出基地」として特定。

コメ輸出の飛躍的拡大

目標：10万トン(※)

（3）戦略的輸出ターゲット国

「戦略的輸出事業者」が輸出を拡大する国を中心に、重点的にプロモーション等を行う「戦略的輸出ターゲット国」を特定。

→ 中国、香港、シンガポール、米国、ＥＵ等

（※）米菓・日本酒等の原料米換算分を含む。

「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」の参加状況について

○　本プロジェクトの参加状況

令和２年12月25日時点の戦略的輸出事業者及び戦略的輸出基地の参加状況は以下のとおりとなっています。

(ア)戦略的輸出事業者　　７４事業者（目標数量合計 １４万トン※）

(イ)戦略的輸出基地

(1)団体・法人　　２５５産地

(2)都道府県単位の集荷団体等　　２１団体

（(1)以外の産地も含めた取組を推進する都道府県単位の団体等）

(3)全国単位の集荷団体等　　１団体

（(1)、(2)以外の産地も含めた取組を推進する全国単位の団体等）

(ウ)戦略的輸出ターゲット国

戦略的輸出事業者から提出された「重点的に輸出を拡大する国・地域」は以下のとおり。

中国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア、モンゴル、米国、カナダ、EU、スイス、オーストラリア、ロシア、中東、インド

※輸出事業者の目標の積み上げにより、重複して計上される場合があります。

○　今後の取組方針

海外市場における日本産米の需要をより一層喚起し、輸出拡大に繋げるため、令和元年度・令和2年度補正予算に盛り込まれた輸出促進予算等を活用して戦略的輸出事業者による海外市場開拓を強力に推進します。

また、海外需要に応じた輸出用米の生産拡大を進めるため、戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地の結びつけ・マッチングを進めるとともに、各県・地域が水田フル活用ビジョンの検討を進める中で、戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地との間で輸出用米の具体的な生産数量や品種等の調整が進むよう、関係者が一体となって輸出用米生産の取組を推進します。

なお、引き続き、本プロジェクトに参加する輸出事業者及び産地の団体・法人を募集します。本プロジェクトへの参加を希望する輸出事業者及び産地の団体・法人は、下記URLの様式に必要事項を記載の上、以下の宛先に郵送、FAX又は電子メールにて提出してください。

「コメ輸出拡大プラン（輸出事業者用）」の提出先

〒100-8950
東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省政策統括官付
農産企画課米穀輸出企画班 島本、斎藤、鈴木
E-mail:kome_yusyutu@maff.go.jp
TEL:03-6738-6069、FAX:03-6738-8976

「コメ輸出産地取組方針（産地の団体・法人用）」の提出先

〒100-8950
東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省政策統括官付
穀物課　新保、武内、桒原
E-mail:kome_santi@maff.go.jp
TEL:03-6744-2108、FAX:03-6744-2523

農林水産省ホームページで「米の輸出について」のページを開設しました！「米の輸出について」のページには、本プロジェクトの情報やコメ輸出に関する様々な情報を掲載しています。
また同ページには、コメの輸出について分かりやすく説明した動画を公開しています。
「農林水産省ホームページ」トップページの「キーワード」にある「米の輸出」からご覧頂けます！

（農新水産省ホームページ「米の輸出について」URL）
http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html

Ⅴ　その他

（１）水稲うるち玄米の農産物検査結果

- 令和２年産水稲うるち玄米の令和２年１１月30日現在の検査数量は、４０４万トン。
- １等米比率は、８０.３%。

①　検査数量の推移（累計）

単位：千ﾄﾝ

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
28	18	231	1,656	3,564	4,036	4,212	4,319	4,451	4,585	4,929
29	13	244	1,463	3,268	3,851	4,062	4,163	4,279	4,409	4,764
30	21	297	1,446	3,328	3,782	3,962	4,075	4,199	4,325	4,656
元		193	1,651	3,448	3,929	4,118			4,491	
参考：前年比		65%	114%	104%	104%	104%			104%	
2		225	1,780	3,633	4,044					
参考：前年比		117%	108%	105%	103%					

注：1　各月末時点の検査数量である。
　　2　生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。
　　3　「農林水産大臣の定める様式及び農林水産大臣の定める期日」の告示に基づく報告を集計（公表）したものである。

②　検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,582	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28	4,928,745	4,110,565	668,746	67,438	81,995	83.4	13.6	1.4	1.7
29	4,763,550	3,919,530	676,990	74,247	92,784	82.3	14.2	1.6	1.9
30	4,655,749	3,737,664	732,043	84,232	101,811	80.3	15.7	1.8	2.2
元(注3)	4,491,055	3,276,625	1,000,643	136,767	77,020	73.0	22.3	3.0	1.7
2(注4)	4,044,475	3,247,061	669,751	85,411	42,253	80.3	16.6	2.1	1.0

資料：　農林水産省とりまとめ
注：１　等級比率は、１等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、１等に格付けされた割合である。
　　２　30年産米までは、生産年の翌年10月31日現在（確定値）。
　　３　元年産米については、令和２年３月31日現在（速報値）。
　　４　２年産米については、令和２年11月30日現在（速報値）。

（2）飼料用米の需要量

- 畜産側の令和２年産に係る飼料用米の年間需要量は、約１２０万トン。
〔農林水産省生産局畜産部飼料課調べ〕

① 全農グループ飼料会社：約65万トン
② (協)日本飼料工業会組合員工場：約46万トン
③ 全国酪農業協同組合連合会：約１万トン
④ 日本養鶏連：約3万トン

- 畜産農家：約２万トン〔51件〕（新規需要量、令和２年９月現在）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（令和元年12月現在）

地区	年間使用可能数量（千トン）	備　考
北海道	58	ホクレンくみあい飼料
東北	199	ＪＡ全農北日本くみあい飼料
関東	122	ＪＡ東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	21	ＪＡ東日本くみあい飼料
東海	32	〃
近畿・中国	21	ＪＡ西日本くみあい飼料
四国	29	〃
北九州	33	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	137	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合　計	652	

(※) 使用可能数量は、製造工程・能力から試算した数量。
(※) MA米、備蓄米を含んだ場合の年間使用可能数量は、約820千ﾄﾝ。
(※) 畜種別の使用割合は、グループ内の飼料会社からの聞取りをもとに、養鶏約59%、養豚約31%、養牛約10%と推計。
(※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。
(※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：JA全農　畜産生産部麦類・副原料課　TEL：03-6271-8243

② 日本飼料工業会組合員の飼料用米需要量（令和元年12月現在）

地　区	需要量（千トン：単年度）	備　考
北海道	20	
東北	142	
関東	107	
中部	47	
関西	54	
九州	90	
合計	460	

(※) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提、価格水準により需要量は変動する。
(※) この他、MA米、備蓄米に対する需要が約26万ﾄﾝあり、上記の需要量には、MA米、備蓄用米は含まない。
(※) 畜種別の使用割合は、組合員の一部の工場からの聞取りのもとに、豚約35%、ブロイラー約32%、採卵鶏約30%、乳用牛約2%、肉用牛約1%と推計。
(※)四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

（協）日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー（工場）との仲介を実施。

問い合わせ先：「飼料用米ダイヤル」TEL:03-3583-8031　E-mail:Esamai@jafma.or.jp

③ 全国酪農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量（令和元年12月現在）

地　区	年間使用可能数量もしくは需要量（千トン）	備　考
北海道	9.8	政府所有米穀(MA米)使用
東北	2.0	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
関東	1.2	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	1.0	政府所有米穀(MA米)と新規需要米併用
九州	0.0	
合　計	14.4	

(※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
(※) 畜種別の使用割合は、30年度の使用実績では、乳用牛約85%、肉用牛約15%。
(※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
(※) 輸入トウモロコシ価格以下であることを前提とした需要量。
(※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部　TEL：03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可能数量　（令和元年12月現在）

地 区	年間使用可能数量もしくは需要量（千トン：単年度）	備　考
北海道	0.0	
東北	0.5	*籾米、不可
関東	1.0	
北陸	0.0	
東海	1.0	
近畿・中国	6.0	*籾米、不可
四国	0.0	
九州	26.0	*一部、籾米不可
合計	34.5	

(※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
(※) 畜種別の使用割合は、30年度の使用実績では、採卵鶏約70%、ブロイラー約25%、その他約5%。
(※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
(※) 輸入トウモロコシ価格以下であることを前提とした需要量。
(※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：日本養鶏連　事業部　TEL：03-5296-7041

- 畜産農家の令和２年産飼料用米の
  新規需要量（令和２年９月現在）

都道府県	新規需要量		うち確保済み	
	件数	数量（トン）	件数	数量（トン）
岩手県	1	50	1	50
宮城県	1	3		
秋田県	2	74		
茨城県	3	101	2	70
千葉県	7	6,433	5	1,634
山梨県	7	318		
長野県	7	448	6	428
愛知県	2	220		
京都府	4	251	3	82
奈良県	2	1,110		
鳥取県	3	2,420	3	1,920
広島県	1	300		
香川県	4	110		
福岡県	1	1,200		
佐賀県	1	4		
長崎県	2	20		
大分県	1	3,000		
宮崎県	2	未定		
合計	**51**	**16,062**	**20**	**4,184**

（※）畜種別の使用割合は都道府県の報告から、肉用牛４件1,609ﾄﾝ、乳用牛７件2,192ﾄﾝ 、豚11件3,371ﾄﾝ 、
採卵鶏26件8,778ﾄﾝ 、ブロイラー２件92ﾄﾝ、その他で1件20ﾄﾝ。
（※）四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：生産局畜産部飼料課　TEL：03-3502-5993

飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等

飼料用米のマッチングの取組状況

○ 畜産農家と耕種農家とのマッチングのための要望調査を実施したところ、令和2年産飼料用米について、畜産農家から約2万トン（51件）の希望が寄せられている。さらに、全農グループ飼料会社において約65万トン、日本飼料工業会において約46万トン（中・長期的には約200万トン）の需要があるなど、配合飼料メーカーからの要望もあり、農林水産省としてもこれらのマッチング活動を推進。

○ 令和2年産飼料用米の生産・利用拡大に向けては、全国、地方ブロック、各県（地域）段階において推進体制を整備し、生産・流通・利用にかかる各種課題解決に向けた取組を総合的に推進。

○ 令和2年産に係る飼料用米の需要量

- **畜産農家の新規需要量：約2万トン（51件）**
  （令和2年9月現在）
- **全農グループ飼料会社：年間約65万トン**
  （米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量。）
- **（協）日本飼料工業会組合員工場：年間約46万トン**
  （米の需要量見込み約72万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量。中長期的にみた需要量は約200万トン。）

○ 飼料業界主要4団体の飼料用米生産拡大に向けたメッセージ

（平成29年3月28日公表）

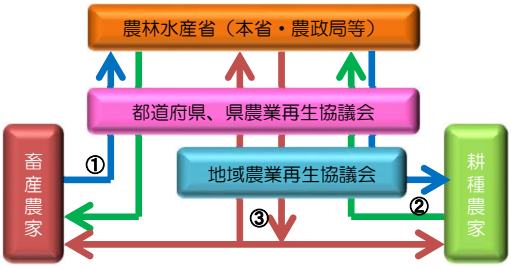
- 飼料業界の主要4団体が、飼料用米の生産拡大に向け、飼料用米に取り組む生産者に対するメッセージをとりまとめ、公表。
- 当面の飼料用米の使用可能数量は4団体で120万トン程度と十分に利用できる体制になっており、安心して飼料用米生産に取り組んでいただきたい旨が記載。

○ マッチング活動の取組体制

① 新たに飼料用米の供給を希望する畜産農家の連絡先や希望数量・価格等の取引条件を聞き取り、需要者情報としてとりまとめ、産地側（地域再生協・耕種農家等）へ提供

② 地域（再生協）における飼料用米の作付面積や数量を聞き取り、産地情報として取りまとめ、利用側（畜産農家等）へ提供

③ 各関係機関が連携し、マッチング活動を推進



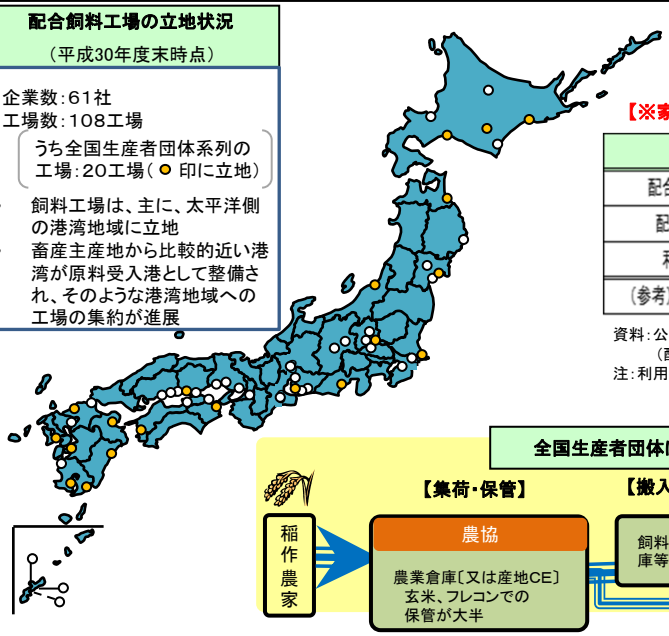
配合飼料メーカーへの飼料用米の供給について

○ 耕種農家は、農協に出荷することで、自ら需要先の確保を図る必要がなく、飼料用米の生産に取組可能。
○ 農協は、CEや耕種農家が乾燥した飼料用米を地域の農業倉庫等で保管。
○ 農協と出荷契約を締結した全国団体は、飼料メーカーの要望に応じ、工場近くの営業倉庫等で開袋・バラ化作業を行い、工場に搬入。
○ 飼料メーカーは、とうもろこしの代替として飼料用米を配合し、畜産農家に出荷（工場は、在庫として保有せず、計画的に受入・配合）。
○ 飼料工場では、次の課題をクリアすれば、受入量の増加に対応可能。
- 配合飼料の主原料（とうもろこし等）と同等またはそれ以下の価格での供給
- 工場への長期的かつ計画的な供給と集荷・流通の円滑化（例えば、半年程度前から供給量の調整を行い、計画的に搬入）

配合飼料工場の立地状況
（平成30年度末時点）

企業数：61社
工場数：108工場
（うち全国生産者団体系列の工場：20工場（● 印に立地））

- 飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地
- 畜産主産地から比較的近い港湾が原料受入港として整備され、そのような港湾地域への工場の集約が進展



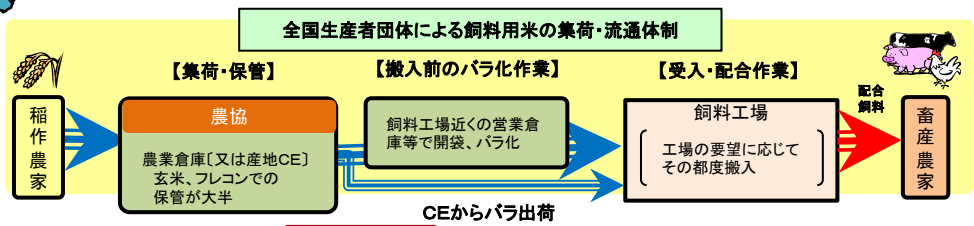
畜種別のコメの利用可能量（試算）

【※家畜の生理や畜産物に影響を与えることなく給与可能と見込まれる量】

区 分	採卵鶏	ブロイラー	養 豚	乳 牛	肉 牛	合 計
配合飼料生産量	649万㌧	386万㌧	564万㌧	303万㌧	452万㌧	2,355万㌧
配合可能割合	20%	50%	15%	10%	3%	
利用可能量	130万㌧	193万㌧	85万㌧	30万㌧	14万㌧	451万㌧
（参考）R元年度使用量	24万㌧	29万㌧	24万㌧	4万㌧	3万㌧	85万㌧

資料：公益社団法人配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」より
（配合可能割合は畜産栄養有識者からの聞取り及び研究報告をもとに試算）
注：利用可能量は、令和元年度の配合飼料生産量に配合可能割合を乗じて算出。

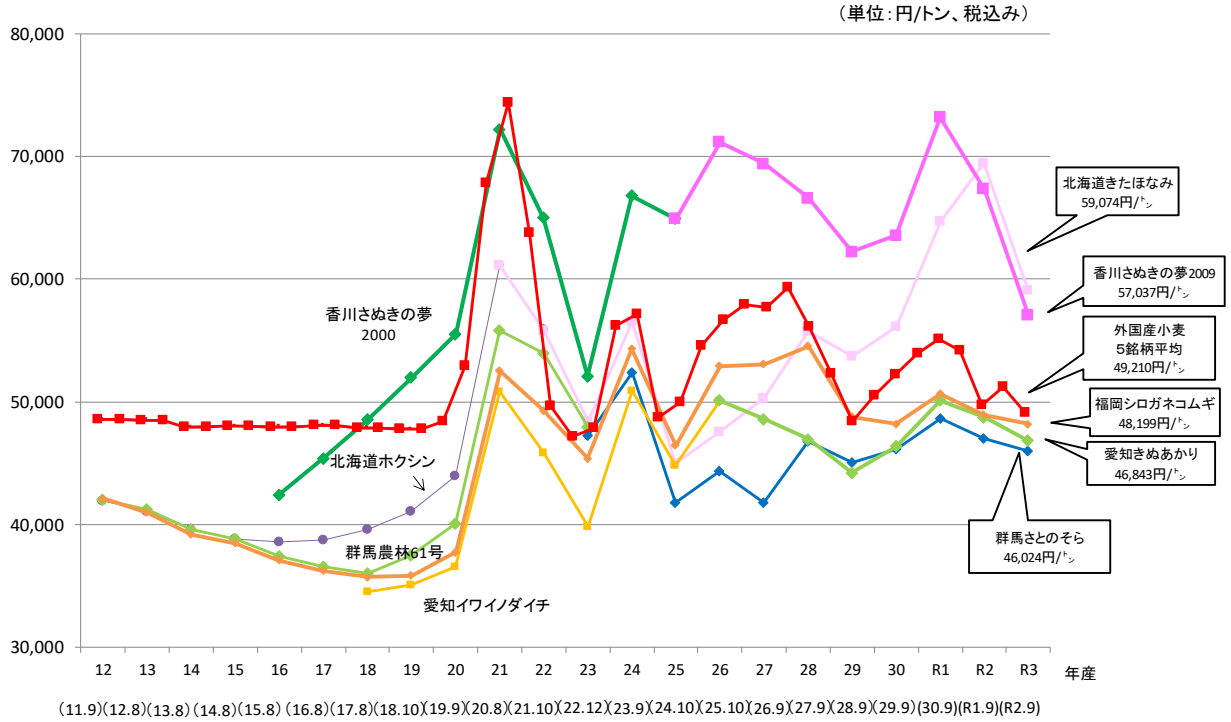
全国生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制



（3）　麦・大豆の需要情報

①　令和３年産麦の産地別銘柄別入札結果

令和３年産国内産麦の入札の結果、取引の基準となる指標価格（加重平均）（税込）は、麦種別平均で、小麦５６，７１７円/トン、小粒（六条）大麦４６，４８０円/トン、大粒（二条）大麦３３，４３１円/トン、はだか麦４５，１６９円/トン。



注１：国内産小麦の価格は、播種前入札第1回、第2回及び再入札の全銘柄落札加重平均価格（税込み）。年産の下段の（　）内は国内産麦の播種前入札実施年月である。
注２：外国産小麦の価格は、18年までは年度平均の実績価格であり、19年以降は、国内産麦の入札実施年月時点の輸入小麦の政府売渡価格（5銘柄平均）である。
注３：ホクシン（きたほなみ）については、22年産までは「ホクシン」の価格であり、23年産からは「きたほなみ」の価格である。
注４：さぬきの夢については、24年産までは「さぬきの夢2000」の価格であり、25年産からは「さぬきの夢2009」の価格である。
注５：農林61号（さとのそら）については、23年産までは「農林61号」の価格であり、24年産からは「さとのそら」の価格である。
注６：R1年産から国内産小麦の税込み価格は農林水産省で算出。

ア　令和３年産小麦

（単位：円、トン、税抜き）

麦種	産地	銘　柄	地域区分	前年産指標価格 (1)	税別 基準価格 (2)	税別 指標価格 (3)	税別 対比 (3)÷(2)	指標価格前年産対比 (3)÷(1)	上場数量 (4)	申込数量 (5)	落札数量	落札残数量	申込倍率 (5)÷(4)
小　麦	北海道	春よ恋	全地区	71,467	67,250	73,963	110.0 %	103.5 %	10,350	43,120	10,350	0	4.2
小　麦	北海道	きたほなみ	全地区	64,313	60,519	54,698	90.4 %	85.0 %	131,410	85,750	85,750	45,660	0.7
小　麦	北海道	ゆめちから	全地区	65,219	61,371	55,995	91.2 %	85.9 %	22,910	15,920	15,580	7,330	0.7
小　麦	北海道	はるきらり	全地区	62,542	58,852	64,737	110.0 %	103.5 %	1,510	5,240	1,510	0	3.5
小　麦	岩　手	ゆきちから	全地区	39,414	37,089	35,508	95.7 %	90.1 %	1,390	1,380	1,280	110	1.0
小　麦	宮　城	シラネコムギ	全地区	44,586	41,955	42,055	100.2 %	94.3 %	520	780	520	0	1.5
小　麦	茨　城	さとのそら	全地区	43,512	40,945	43,215	105.5 %	99.3 %	3,680	5,000	3,680	0	1.4
小　麦	群　馬	つるぴかり	全地区	48,975	46,085	49,500	107.4 %	101.1 %	1,130	2,350	1,130	0	2.1
小　麦	群　馬	さとのそら	全地区	43,529	40,961	42,615	104.0 %	97.9 %	4,660	8,400	4,660	0	1.8
小　麦	埼　玉	あやひかり	全地区	42,677	40,159	42,179	105.0 %	98.8 %	1,490	3,110	1,460	30	2.1
小　麦	埼　玉	さとのそら	全地区	42,378	39,878	40,673	102.0 %	96.0 %	4,350	9,430	4,120	230	2.2
小　麦	岐　阜	イワイノダイチ	全地区	43,017	40,479	42,341	104.6 %	98.4 %	1,220	3,130	1,220	0	2.6
小　麦	岐　阜	さとのそら	全地区	44,012	41,415	43,496	105.0 %	98.8 %	1,230	3,450	1,230	0	2.8
小　麦	愛　知	きぬあかり	全地区	45,137	42,474	43,373	102.1 %	96.1 %	5,900	13,070	5,900	0	2.2
小　麦	滋　賀	農林61号	全地区	48,918	46,032	47,197	102.5 %	96.5 %	2,130	4,980	2,130	0	2.3
小　麦	滋　賀	ふくさやか	全地区	43,739	41,158	41,547	100.9 %	95.0 %	1,030	2,040	1,030	0	2.0
小　麦	滋　賀	びわほなみ	全地区	－	46,032	47,791	103.8 %	－	1,250	3,900	1,250	0	3.1
小　麦	香　川	さぬきの夢2009	全地区	62,358	58,679	52,812	90.0 %	84.7 %	1,840	380	380	1,460	0.2
小　麦	福　岡	シロガネコムギ	全地区	45,330	42,656	44,629	104.6 %	98.5 %	5,460	12,520	5,460	0	2.3
小　麦	福　岡	チクゴイズミ	全地区	47,297	44,506	42,240	94.9 %	89.3 %	5,440	11,320	5,440	0	2.1
小　麦	福　岡	ミナミノカオリ	全地区	55,511	52,236	57,459	110.0 %	103.5 %	1,810	6,600	1,810	0	3.6
小　麦	佐　賀	シロガネコムギ	全地区	43,454	40,890	43,579	106.6 %	100.3 %	6,250	18,200	6,250	0	2.9
小　麦	佐　賀	チクゴイズミ	全地区	45,768	43,068	41,444	96.2 %	90.6 %	3,610	7,170	3,610	0	2.0
小　麦	大　分	チクゴイズミ	全地区	42,680	40,162	40,092	99.8 %	93.9 %	1,220	2,320	1,220	0	1.9
－	－	－－－合　計－－－	－	－	55,203	52,516	95.1 %	－	221,790	269,560	166,970	54,820	1.2

資料：（一社）全国米麦改良協会「令和3年産民間流通麦の入札における落札決定状況（公表）」
注：１　基準価格及び指標価格は円/1ﾄﾝ当たりの価格である。
　　２　建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。
　　３　基準価格及び指標価格の「合計」欄は、産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。
　　４　令和3年産小麦の基準価格は、令和2年産の指標価格に当該年産の第1回入札時点での輸入麦の政府売渡価格の変動率(0.941)を乗じた価格である。

イ　令和３年産大麦・はだか麦

（単位：円、トン、税抜き）

麦種	産地	銘　　柄	地域区分	前年産指標価格 (1)	税別 基準価格 (2)	税別 指標価格 (3)	税別 対比 (3)÷(2)	指標価格前年産対比 (3)÷(1)	上場数量 (4)	申込数量 (5)	落札数量	落札残数量	申込倍率 (5)÷(4)
小粒(六条)大麦	宮　城	シュンライ	全地区	35,752	35,752	35,754	100.0 %	100.0 %	330	630	330	0	1.9
小粒(六条)大麦	宮　城	ミノリムギ	全地区	36,411	36,411	36,023	98.9 %	98.9 %	200	240	200	0	1.2
小粒(六条)大麦	茨　城	カシマムギ	全地区	45,268	45,268	45,268	100.0 %	100.0 %	180	210	180	0	1.2
小粒(六条)大麦	茨　城	カシマゴール	全地区	39,490	39,490	39,490	100.0 %	100.0 %	970	970	970	0	1.0
小粒(六条)大麦	栃　木	シュンライ	全地区	38,217	38,217	38,304	100.2 %	100.2 %	1,360	1,770	1,260	100	1.3
小粒(六条)大麦	群　馬	シュンライ	全地区	38,116	38,116	37,776	99.1 %	99.1 %	440	610	440	0	1.4
小粒(六条)大麦	富　山	ファイバースノウ	全地区	46,116	46,116	46,116	100.0 %	100.0 %	2,390	3,250	2,390	0	1.4
小粒(六条)大麦	石　川	ファイバースノウ	Ⅰ地区	43,666	43,666	43,666	100.0 %	100.0 %	900	1,260	900	0	1.4
小粒(六条)大麦	福　井	ファイバースノウ	全地区	46,483	46,483	46,488	100.0 %	100.0 %	3,010	4,040	3,010	0	1.3
小粒(六条)大麦	福　井	はねうまもち	全地区	49,464	49,464	48,891	98.8 %	98.8 %	430	570	420	10	1.3
小粒(六条)大麦	長　野	ファイバースノウ	全地区	39,016	39,016	38,986	99.9 %	99.9 %	300	490	300	0	1.6
小粒(六条)大麦	滋　賀	ファイバースノウ	Ⅱ地区	38,363	38,363	34,672	90.4 %	90.4 %	1,040	570	530	510	0.5
－	－	－－－合　計－－－	－	－	43,248	43,037	99.5 %	－	11,550	14,610	10,930	620	1.3
大粒(二条)大麦	茨　城	ミカモゴールデン	全地区	28,432	28,432	28,432	100.0 %	100.0 %	800	870	660	140	1.1
大粒(二条)大麦	栃　木	ニューサチホゴールデン	全地区	32,291	32,291	32,313	100.1 %	100.1 %	930	840	780	150	0.9
大粒(二条)大麦	岡　山	スカイゴールデン	全地区	40,641	40,641	36,577	90.0 %	90.0 %	940	50	50	890	0.1
大粒(二条)大麦	佐　賀	サチホゴールデン	全地区	43,067	43,067	38,761	90.0 %	90.0 %	3,760	20	20	3,740	0.0
大粒(二条)大麦	佐　賀	はるか二条	全地区	43,777	43,777	39,400	90.0 %	90.0 %	4,020	20	20	4,000	0.0
－	－	－－－合　計－－－	－	－	31,190	30,955	99.2 %	－	10,450	1,800	1,530	8,920	0.2
はだか麦	北海道	その他（富系1103）	全地区	－	53,000	48,383	91.3 %	－	400	330	290	110	0.8
はだか麦	香　川	イチバンボシ	全地区	43,293	43,293	38,964	90.0 %	90.0 %	680	220	220	460	0.3
はだか麦	愛　媛	ハルヒメボシ	全地区	42,952	42,952	39,557	92.1 %	92.1 %	1,340	260	260	1,080	0.2
はだか麦	大　分	トヨノカゼ	全地区	43,084	43,084	39,748	92.3 %	92.3 %	510	330	330	180	0.6
－	－	－－－合　計－－－	－	－	45,709	41,823	91.5 %	－	2,930	1,140	1,100	1,830	0.4

資料：（一社）全国米麦改良協会「令和3年産民間流通麦の入札における落札決定状況（公表）」

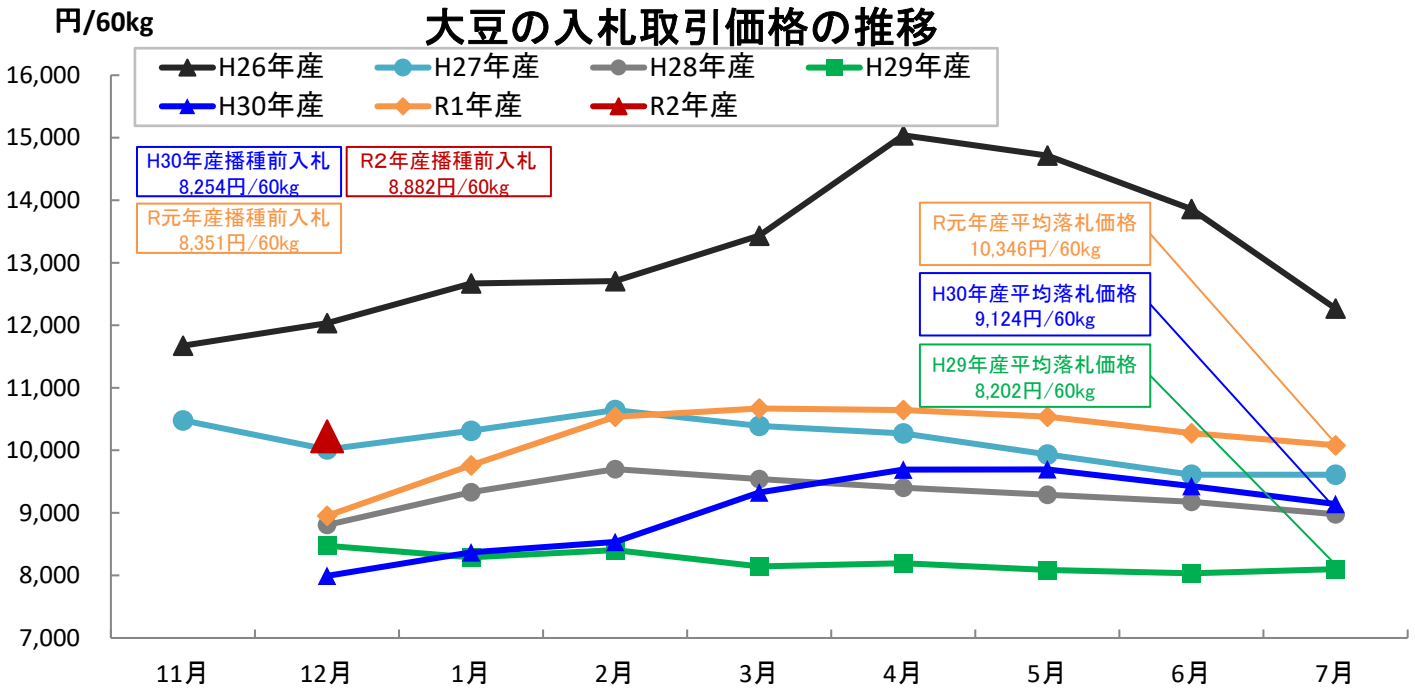
注：１　基準価格及び指標価格は円/1ﾄﾝ当たりの価格である。

２　建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。

３　基準価格及び指標価格の「合計」欄は、産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。

②　令和２年産大豆の産地品種銘柄別入札結果

- 　令和２年産大豆の作付面積は、前年産から1,800ha減少し、14万1,700haとなった。
- （公財）日本特産農産物協会が開設する令和２年産大豆の収穫後入札取引は、昨年12月に第１回を開催。1,158ｔが上場、全量落札され平均落札価格は10,225円/60kgとなった。（令和元年産は上場量33,824ｔ、落札率89%、平均落札価格10,346円/60kg。）
- 　また、令和２年産大豆の播種前入札（令和２年４月に実施）では、16,325ｔが上場され、落札率は89%、平均落札価格は8,882円/60kgであった。（令和元年産は上場量15,355ｔ、落札率55%、平均落札価格8,351円/60kg。）



資料：(公財)日本特産農産物協会入札結果より。　注：入札販売価格は各月の全銘柄平均価格(税抜)

令和２年産大豆の収穫後入札結果（産地品種銘柄別、年産累計）
（北海道～石川県）

（単位：俵、円/60kg(税抜き)）

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
北海道	大粒	とよまさり	12,045	1,650	13,695	12,045	1,650	13,695	100%	10,545	9,515	10,421
	大粒	[とよまさりユキホマレ]	10,395	1,650	12,045	10,395	1,650	12,045	100%	10,488	9,515	10,355
	大粒	[とよまさりとよみづき]	1,650		1,650	1,650		1,650	100%	10,902		10,902
	中粒	とよまさり	165	990	1,155	165	990	1,155	100%	9,460	9,292	9,316
	中粒	[とよまさりユキホマレ]	165	990	1,155	165	990	1,155	100%	9,460	9,292	9,316
青森	大粒	おおすず	660	165	825	660	165	825	100%	10,145	8,210	9,758
	中粒	おおすず	495	330	825	495	330	825	100%	9,413	9,220	9,336
秋田	大粒	リュウホウ		165	165		165	165	100%		9,100	9,100
	中粒	リュウホウ	495	165	660	495	165	660	100%	9,633	8,650	9,388
新潟	大粒	里のほほえみ	330	330	660	330	330	660	100%	10,015	10,035	10,025
	中粒	里のほほえみ		165	165		165	165	100%		9,210	9,210
	大粒	エンレイ		330	330		330	330	100%		11,270	11,270
	中粒	エンレイ		495	495		495	495	100%		10,750	10,750
石川	大粒	里のほほえみ		330	330		330	330	100%		10,010	10,010
全　国			14,190	5,115	19,305	14,190	5,115	19,305	100%	10,430	9,658	10,225

注１：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

令和２年産大豆の播種前入札結果（産地品種銘柄別）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	品位区分	上場数量	落札数量	落札率	平均落札価格
北海道	大粒	とよまさり	普通・3等以上	76,400	74,750	98%	8,086
	大粒	[とよまさりユキホマレ]	普通・3等以上	64,350	63,200	98%	8,107
	大粒	[とよまさりとよみづき]	普通・3等以上	12,050	11,550	96%	7,973
	小粒	ユキシズカ	普通・3等以上	17,000	6,933	41%	8,969
	小粒	スズマル	普通・3等以上	3,967	1,150	29%	10,226
青森	大粒	おおすず	普通・3等以上	8,417	6,267	74%	8,006
岩手	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	4,950	4,133	84%	8,172
	大粒	ナンブシロメ	普通・3等以上	333	—	—	—
宮城	大粒	ミヤギシロメ	普通・3等以上	10,567	9,400	89%	8,270
	大粒	タチナガハ	普通・3等以上	7,433	3,300	44%	7,800
	大粒	タンレイ	普通・3等以上	7,267	7,267	100%	8,093
秋田	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	14,850	14,850	100%	8,236
山形	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	4,450	4,450	100%	8,908
茨城	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	2,150	2,150	100%	8,831
	小粒	納豆小粒	特定加工用以上	333	—	—	—
栃木	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	4,450	4,450	100%	8,496
新潟	大粒	エンレイ	特定加工用以上	3,467	3,467	100%	8,319
	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	6,600	6,600	100%	8,443
富山	大粒	エンレイ	特定加工用以上	18,983	13,200	70%	9,087
	大粒	シュウレイ	特定加工用以上	6,433	6,433	100%	8,745
石川	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	2,483	2,483	100%	9,137
福井	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	1,317	1,317	100%	8,514
長野	大粒	ナカセンナリ	普通・3等以上	1,650	—	—	—
岐阜	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,617	4,617	100%	10,151
愛知	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	9,083	9,083	100%	10,412
三重	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	5,933	5,933	100%	9,730
滋賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,133	4,133	100%	9,562
	大粒	ことゆたか	普通・3等以上	3,633	3,633	100%	9,018
山口	大粒	サチユタカ	特定加工用以上	500	500	100%	8,110
福岡	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	15,833	15,833	100%	10,695
佐賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	20,783	20,783	100%	10,520
熊本	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,133	4,133	100%	9,986
全　国				272,083	241,233	89%	8,882

＜参考１＞令和元年産大豆の播種前入札結果（産地品種銘柄別、年産累計）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	品位区分	上場数量	落札数量	落札率	平均落札価格
北海道	大粒	とよまさり	普通・3等以上	80,520	16,665	21%	7,725
	大粒	[とよまさりユキホマレ]	普通・3等以上	66,825	14,190	21%	7,761
	大粒	[とよまさりとよみづき]	普通・3等以上	13,695	2,475	18%	7,522
	小粒	ユキシズカ	普通・3等以上	14,850	12,540	84%	9,059
	小粒	スズマル	普通・3等以上	3,795	1,155	30%	9,823
青森	大粒	おおすず	普通・3等以上	6,105	1,815	30%	7,901
岩手	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	4,455	990	22%	7,700
宮城	大粒	ミヤギシロメ	普通・3等以上	8,250	8,085	98%	8,177
	大粒	タチナガハ	普通・3等以上	6,105	—	—	—
	大粒	タンレイ	普通・3等以上	5,610	3,795	68%	8,017
秋田	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	12,870	4,950	38%	7,821
山形	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	4,455	1,650	37%	7,812
茨城	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	2,310	—	—	—
	小粒	納豆小粒	特定加工用以上	495	—	—	—
栃木	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	4,125	4,125	100%	7,752
新潟	大粒	エンレイ	特定加工用以上	3,465	990	29%	7,845
	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	6,435	4,785	74%	7,929
富山	大粒	エンレイ	特定加工用以上	8,580	495	6%	9,050
	大粒	シュウレイ	特定加工用以上	3,465	2,970	86%	8,118
石川	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	2,970	2,970	100%	8,141
福井	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	2,805	2,805	100%	8,074
長野	大粒	ナカセンナリ	普通・3等以上	2,145	—	—	—
岐阜	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,620	4,620	100%	8,453
愛知	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	8,910	8,910	100%	9,391
三重	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	5,940	5,940	100%	8,090
滋賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,125	4,125	100%	8,384
	大粒	ことゆたか	普通・3等以上	3,300	825	25%	8,076
福岡	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	19,965	19,965	100%	8,681
佐賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	20,790	20,790	100%	8,360
熊本	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,455	4,455	100%	8,198
全　国				255,915	140,415	55%	8,351

注１：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：　落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

＜参考２＞令和元年産大豆の収穫後入札結果（産地品種銘柄別、年産累計）

- 令和元年産国産大豆の収穫量は217,800トン（「作物統計」（農林水産省統計部公表））で、前年産と比べ3%上昇。
- 令和元年産大豆の平均落札価格は10,346円/60kgとなった（平成30年産9,124円/60kg、29年産8,202円/60kg）。

（北海道から栃木県まで）　　（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
北海道	大粒	音更大袖振	4,125		4,125	1,485		1,485	36%	10,227		10,227
	中粒	音更大袖振		825	825							
	大粒	とよまさり	150,646	17,292	167,938	140,320	15,867	156,187	93%	10,370	9,310	10,262
	大粒	[とよまさりトヨムスメ]	240		240	240		240	100%	9,800		9,800
	大粒	[とよまさりトヨコマチ]	330	330	660	165	165	330	50%	8,220	8,440	8,330
	大粒	[とよまさりユキホマレ]	108,475	14,817	123,292	102,985	13,722	116,707	95%	10,401	9,378	10,281
	大粒	[とよまさりとよみづき]	41,601	2,145	43,746	36,930	1,980	38,910	89%	10,295	8,907	10,224
	中粒	とよまさり	9,870	5,115	14,985	9,705	5,115	14,820	99%	9,680	8,995	9,443
	中粒	[とよまさりユキホマレ]	6,435	4,950	11,385	6,270	4,950	11,220	99%	9,490	9,003	9,275
	中粒	[とよまさりとよみづき]	3,435	165	3,600	3,435	165	3,600	100%	10,026	8,770	9,968
	小粒	とよまさり		2,145	2,145		1,650	1,650	77%		7,167	7,167
	小粒	[とよまさりユキホマレ]		2,145	2,145		1,650	1,650	77%		7,167	7,167
	中粒	ハヤヒカリ	4,950		4,950	1,320		1,320	27%	8,060		8,060
	小粒	スズマル	6,435	660	7,095	4,950		4,950	70%	10,581		10,581
	極小粒	スズマル	1,650	825	2,475	1,485	330	1,815	73%	10,517	10,505	10,515
	小粒	ユキシズカ	38,336	4,785	43,121	21,120	165	21,285	49%	9,281	8,910	9,278
	極小粒	ユキシズカ	2,805	165	2,970	2,145	165	2,310	78%	10,268	10,000	10,249
		その他	1,485		1,485	495		495	33%	9,340		9,340
	（小粒）	スズマル（小粒）	825		825	330		330	40%	9,755		9,755
	（小粒）	ユキシズカ（小粒）	660		660	165		165	25%	8,510		8,510
青森	大粒	おおすず	21,355	3,795	25,150	21,190	3,465	24,655	98%	9,946	8,440	9,734
	中粒	おおすず	990	1,320	2,310	990	990	1,980	86%	8,482	7,845	8,163
	小粒	おおすず		398	398							
岩手	大粒	リュウホウ	9,075	825	9,900	9,075	825	9,900	100%	9,534	8,768	9,470
	中粒	リュウホウ	1,854	495	2,349	1,854	495	2,349	100%	9,565	8,960	9,437
	小粒	リュウホウ	165	369	534		204	204	38%		6,510	6,510
	大粒	シュウリュウ	2,706	330	3,036	2,211	165	2,376	78%	9,143	10,020	9,203
宮城	大粒	ミヤギシロメ	3,135	1,980	5,115	2,805	1,980	4,785	94%	9,982	9,445	9,760
	大粒	[ミヤギシロメ]	3,135	1,980	5,115	2,805	1,980	4,785	94%	9,982	9,445	9,760
	中粒	ミヤギシロメ	8,526	6,105	14,631	7,866	5,610	13,476	92%	9,535	8,956	9,294
	中粒	[ミヤギシロメ]	2,145	1,485	3,630	1,485	990	2,475	68%	8,434	8,008	8,264
	中粒	[ミヤギシロメ大]	6,381	4,620	11,001	6,381	4,620	11,001	100%	9,791	9,159	9,526
	小粒	ミヤギシロメ		330	330							
	小粒	[ミヤギシロメ]		330	330							
	大粒	タンレイ	6,765	2,999	9,764	6,765	2,999	9,764	100%	9,494	9,172	9,395
	中粒	タンレイ	1,816	2,577	4,393	1,816	2,577	4,393	100%	8,626	8,636	8,632
	小粒	タンレイ		165	165							
	大粒	タチナガハ	12,992	1,155	14,147	12,992	1,155	14,147	100%	9,589	8,926	9,534
	中粒	タチナガハ	825	165	990	495	165	660	67%	8,567	8,480	8,545
	小粒	タチナガハ	165	165	330							
秋田	大粒	リュウホウ	19,800	4,811	24,611	19,800	4,811	24,611	100%	9,836	9,054	9,683
	中粒	リュウホウ	16,831	4,455	21,286	16,006	4,125	20,131	95%	9,681	8,922	9,525
	小粒	リュウホウ	708	189	897	708	189	897	100%	6,868	6,520	6,795
山形	大粒	里のほほえみ	11,856	1,485	13,341	11,856	1,485	13,341	100%	10,625	9,838	10,537
	中粒	里のほほえみ	165	660	825	165	660	825	100%	8,720	9,065	8,996
	大粒	リュウホウ	1,650		1,650	1,650		1,650	100%	9,293		9,293
	中粒	リュウホウ	2,449		2,449	2,449		2,449	100%	9,087		9,087
	小粒	リュウホウ		165	165		165	165	100%		8,600	8,600
	大粒	エンレイ	4,326	165	4,491	4,326	165	4,491	100%	10,939	9,560	10,889
	中粒	エンレイ	2,839	495	3,334	2,839	495	3,334	100%	9,222	8,987	9,187
	小粒	エンレイ		495	495		495	495	100%		8,040	8,040
茨城	大粒	里のほほえみ	5,804	1,508	7,311	5,788	1,343	7,131	98%	10,068	10,124	10,079
	中粒	里のほほえみ	374	166	540	196	166	362	67%	9,352	9,056	9,216
	小粒	里のほほえみ	79	74	152							
	小粒	納豆小粒	174	17	191	167		167	87%	12,000		12,000
	極小粒	納豆小粒	75	4	79	69		69	87%	12,000		12,000
		その他	75	71	146	31		31	21%	12,000		12,000
	（小粒）	納豆小粒	75	71	146	31		31	21%	12,000		12,000
栃木	大粒	里のほほえみ	8,897	1,510	10,407	8,432	1,510	9,942	96%	10,407	9,868	10,325
	中粒	里のほほえみ		1,151	1,151		1,005	1,005	87%		9,334	9,334
	小粒	里のほほえみ		184	184							

注１：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

（群馬県以南）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
群馬	大粒	里のほほえみ	283	48	331	283	48	331	100%	9,588	8,798	9,475
	中粒	里のほほえみ	7	26	32	7	26	32	100%	9,460	8,842	8,968
	大粒	ハタユタカ	18	111	129	18	111	129	100%	9,460	8,980	9,047
	中粒	ハタユタカ	22	134	156	22	134	156	100%	9,460	8,340	8,498
	小粒	ハタユタカ	1	12	13	1	12	13	100%	9,460	8,340	8,385
新潟	大粒	里のほほえみ	4,620	8,205	12,825	4,620	7,380	12,000	94%	10,161	10,568	10,411
	中粒	里のほほえみ	495	2,970	3,465	495	2,805	3,300	95%	8,537	9,941	9,731
	大粒	エンレイ	1,834	2,145	3,979	1,650	2,145	3,795	95%	11,192	10,864	11,007
	中粒	エンレイ	3,210	2,145	5,355	2,715	1,815	4,530	85%	10,370	8,578	9,652
	小粒	エンレイ		165	165							
富山	大粒	エンレイ		6,435	6,435		6,435	6,435	100%		11,575	11,575
	中粒	エンレイ		8,261	8,261		8,261	8,261	100%		10,994	10,994
	小粒	エンレイ		1,650	1,650		1,650	1,650	100%		8,397	8,397
	大粒	シュウレイ		2,981	2,981		2,981	2,981	100%		10,157	10,157
	大粒	[シュウレイ]		2,981	2,981		2,981	2,981	100%		10,157	10,157
	中粒	シュウレイ		825	825		825	825	100%		9,614	9,614
	中粒	[シュウレイ]		825	825		825	825	100%		9,614	9,614
	小粒	シュウレイ		94	94		94	94	100%		10,010	10,010
	小粒	[シュウレイ]		94	94		94	94	100%		10,010	10,010
石川	大粒	里のほほえみ	310	3,608	3,917	310	3,465	3,775	96%	11,385	9,785	9,916
	中粒	里のほほえみ	21	975	995	21	165	186	19%	11,620	10,470	10,597
	小粒	里のほほえみ		117	117							
	中粒	エンレイ		165	165		165	165	100%		9,030	9,030
福井	大粒	里のほほえみ		1,175	1,175		1,175	1,175	100%		11,161	11,161
	中粒	里のほほえみ		489	489		489	489	100%		9,366	9,366
	小粒	里のほほえみ		86	86		86	86	100%		8,574	8,574
長野	大粒	ナカセンナリ	672	168	840	672	168	840	100%	10,388	9,001	10,111
	中粒	ナカセンナリ	1,320	328	1,648	1,320	328	1,648	100%	10,849	8,762	10,434
	小粒	ナカセンナリ	1,155	330	1,485	660	330	990	67%	9,443	8,890	9,258
岐阜	大粒	フクユタカ	6,316	137	6,452	6,316	12	6,327	98%	12,844	13,010	12,844
	中粒	フクユタカ	1,824	164	1,988	1,824	154	1,978	99%	12,207	13,010	12,269
	小粒	フクユタカ	2,340	230	2,570	2,340	165	2,505	97%	11,155	11,010	11,146
愛知	大粒	フクユタカ	1,492	330	1,822	1,492	330	1,822	100%	14,412	14,130	14,361
	中粒	フクユタカ	1,314	2,475	3,789	1,314	2,475	3,789	100%	13,410	12,841	13,038
	小粒	フクユタカ	165	2,640	2,805	165	2,640	2,805	100%	11,950	10,660	10,736
三重	大粒	フクユタカ	4,705		4,705	4,705		4,705	100%	13,516		13,516
	中粒	フクユタカ	4,976	165	5,141	3,902	165	4,067	79%	12,903	10,200	12,793
	小粒	フクユタカ	469	660	1,129	469	660	1,129	100%	11,903	10,700	11,200
滋賀	大粒	オオツル		165	165		165	165	100%		10,030	10,030
	中粒	オオツル	990	495	1,485	990	495	1,485	100%	10,017	9,323	9,786
	小粒	オオツル		330	330							
	大粒	ことゆたか	1,815	169	1,984	1,815	169	1,984	100%	11,143	10,220	11,064
	中粒	ことゆたか	990	495	1,485	990	495	1,485	100%	10,888	11,213	10,997
	小粒	ことゆたか		825	825		495	495	60%		9,407	9,407
	大粒	フクユタカ	2,310		2,310	2,310		2,310	100%	13,980		13,980
	中粒	フクユタカ	5,076	452	5,528	5,019	452	5,471	99%	11,802	11,951	11,814
	小粒	フクユタカ	108	2,189	2,297		2,189	2,189	95%		10,327	10,327
鳥取	大粒	サチユタカ	330	330	660	330	330	660	100%	9,220	11,630	10,425
島根	中粒	サチユタカ		165	165		165	165	100%		10,820	10,820
山口	大粒	サチユタカ	992	703	1,695	992	586	1,578	93%	11,563	11,226	11,438
	中粒	サチユタカ	384	783	1,167	384	783	1,167	100%	10,773	10,343	10,484
	中粒	フクユタカ	165		165	165		165	100%	12,200		12,200
		その他		48	48							
	小粒	その他		48	48							
福岡	大粒	フクユタカ	330	160	490	330	160	490	100%	24,260	19,800	22,804
	中粒	フクユタカ	820	180	1,000	820	180	1,000	100%	22,881	18,800	22,147
	小粒	フクユタカ	1,014	330	1,344	1,014	330	1,344	100%	18,973	19,050	18,992
熊本	大粒	フクユタカ	2,953	284	3,237	2,953	284	3,237	100%	14,923	14,419	14,879
	中粒	フクユタカ	4,051	289	4,340	4,051	289	4,340	100%	14,469	14,677	14,483
	小粒	フクユタカ	321	1,858	2,179	321	1,858	2,179	100%	13,057	14,921	14,646
大分	大粒	フクユタカ	1,426	136	1,562	1,426	136	1,562	100%	17,251	16,810	17,213
	中粒	フクユタカ	1,186	540	1,726	1,186	540	1,726	100%	16,900	15,709	16,527
	小粒	フクユタカ		187	187		187	187	100%		10,308	10,308
全　国			429,592	134,140	563,732	385,972	118,509	504,481	89%	10,461	9,968	10,346

注１：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

（７）野菜等の需給情報

- 農林水産省は、我が国の主要な野菜について需要に即した生産を図るため、毎年、次期作の夏秋野菜及び冬春野菜の需要量、供給量、作付面積に関するガイドラインを策定しています。
- 全国出荷団体等は、このガイドラインを踏まえ供給計画を策定し、この計画に即した野菜の出荷に努めることとしています。

Ⅰ．令和3年度　夏秋野菜等の需給ガイドライン

1．需要量

種別		主な出荷時期	需要量(ﾄﾝ)	（参考）令和元年産(ﾄﾝ)
夏秋キャベツ		令和3年7月から10月まで	353,300	361,389
夏秋きゅうり		3年7月から11月まで	239,700	243,556
秋冬さといも		3年6月から4年3月まで	144,800	142,925
夏だいこん		3年7月から9月まで	213,500	223,010
夏秋トマト		3年7月から11月まで	255,900	244,671
	うち大玉トマト		204,700	196,079
	うちミニトマト※		51,200	48,592
夏秋なす		3年7月から11月まで	161,000	157,874
秋にんじん		3年8月から10月まで	257,200	254,770
秋冬ねぎ		3年10月から4年3月まで	221,000	222,016
夏はくさい		3年7月から9月まで	146,100	143,859
夏秋ピーマン		3年6月から10月まで	64,900	66,042
夏秋レタス		3年6月から10月まで	230,900	221,084

（注1）ミニトマトの需給ガイドラインには、「ミディトマト」を含む。
（注2）　需要量は、過去10か年（平成21年～平成30年。以下同じ。）の一人当たり需要量の推移から、回帰式により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗ずることにより、下表の程度と推計。なお、需要量は純食料（人間の消費に直接利用可能な食料の形態）ベースで推計。

2．国内産供給量

種別		国内産供給量（収穫量）(ﾄﾝ)	（参考）令和元年産(ﾄﾝ)
夏秋キャベツ		500,800	512,245
夏秋きゅうり		263,000	267,234
秋冬さといも		183,200	180,803
夏だいこん		252,300	263,605
夏秋トマト		306,800	293,300
	うち大玉ﾄﾏﾄ	245,400	235,050
	うちﾐﾆﾄﾏﾄ	61,400	58,250
夏秋なす		186,400	182,725
秋にんじん		282,000	277,988
秋冬ねぎ		322,400	323,970
夏はくさい		182,800	180,049
夏秋ピーマン		80,400	81,785
夏秋レタス		283,900	271,802

（注）1．で見込んだ需要量を歩留り率及び（1－減耗率）で除し、輸入動向を勘案して推計。

3．作付面積

種別		作付面積(ha)		
		令和3年度ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	（参考）令和2年度ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	令和元年
夏秋キャベツ		10,100	10,100	10,300
夏秋きゅうり		7,790	7,960	7,580
秋冬さといも		11,300	11,900	11,100
夏だいこん		6,080	6,210	6,050
夏秋トマト		7,540	7,700	7,280
	うち大玉ﾄﾏﾄ	5,970	6,110	5,790
	うちﾐﾆﾄﾏﾄ	1,570	1,590	1,490
夏秋なす		7,870	8,080	7,580
秋にんじん		5,680	5,850	5,370
秋冬ねぎ		14,400	14,800	14,100
夏はくさい		2,490	2,490	2,460
夏秋ピーマン		2,260	2,280	2,180
夏秋レタス		9,000	9,070	8,940

（注）2．で見込んだ国内産供給量を過去10カ年の単収の推移から回帰式等により推計した単収で除して推計。

Ⅱ．令和2年度　冬春野菜等の需給ガイドライン

1．需要量

種別	主な出荷時期	需要量(ﾄﾝ)	（参考） 前年産実績(ﾄﾝ)
春キャベツ	令和3年4月から6月まで	268,400	257,457
冬キャベツ	2年11月から3年3月まで	443,700	430,135
冬春きゅうり	2年12月から3年6月まで	280,900	278,207
春だいこん	3年4月から6月まで	183,500	178,745
秋冬だいこん	2年10月から3年3月まで	770,700	752,576
たまねぎ	3年4月から4年3月まで	1,315,800	1,432,284
うち北海道産		737,800	813,325
うち都府県産		578,000	618,959
冬春トマト	2年12月から3年6月まで	337,000	337,730
うち大玉トマト		258,400	255,872
うちミニトマト		78,600	81,858
冬春なす	2年12月から3年6月まで	103,600	105,701
春夏にんじん	3年4月から7月まで	257,200	237,926
冬にんじん	2年11月から3年3月まで	317,100	323,271
春ねぎ	3年4月から6月まで	64,900	65,559
夏ねぎ	3年7月から9月まで	72,400	72,543
春はくさい	3年4月から6月まで	91,100	93,583
秋冬はくさい	2年10月から3年3月まで	476,200	476,987
ばれいしょ	3年4月から4年3月まで	1,810,100	1,920,712
冬春ピーマン	2年11月から3年5月まで	79,900	81,140
ほうれんそう	3年4月から4年3月まで	244,700	244,314
春レタス	3年4月から5月まで	94,900	95,210
冬レタス	2年11月から3年3月まで	152,900	155,285

（注1）ミニトマトの需給ガイドラインには、「ミディトマト」を含む（以下同じ）。
（注2）需要量は、過去10か年（平成20年～平成29年。最新値が平成30年の場合は平成21年～30年。以下同じ。）の一人当たり需要量の推移から、回帰式により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗ずることにより、下表の程度と推計。なお、需要量は純食料（人間の消費に直接利用可能な食料の形態）ベースで推計。

2．国内産供給量

種別	国内産供給量 （収穫量）(ﾄﾝ)	（参考） 前年産実績
春キャベツ	371,400	357,000
冬キャベツ	604,100	590,100
冬春きゅうり	293,400	290,100
春だいこん	210,700	205,600
秋冬だいこん	898,500	876,900
たまねぎ	1,138,400	1,319,000
うち北海道産	708,700	827,800
うち都府県産	429,700	491,200
冬春トマト	395,500	400,400
うち大玉トマト	307,600	304,500
うちミニトマト	91,900	95,900
冬春なす	117,300	119,700
春夏にんじん	168,200	161,800
冬にんじん	243,500	241,000
春ねぎ	80,700	80,900
夏ねぎ	90,300	90,500
春はくさい	113,500	116,800
秋冬はくさい	592,400	594,800
ばれいしょ	1,254,700	1,307,912
冬春ピーマン	76,000	76,000
ほうれんそう	237,900	228,300
春レタス	179,200	183,000
冬レタス	116,200	116,700

（注）1．で見込んだ需要量を歩留り率及び（1－減耗率）で除し、輸入動向を勘案して推計。

3．作付面積

種別	作付面積(ha)		
	令和２年度 ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	（参考） 令和元年度 ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	昨年産実績
春キャベツ	9,000	9,070	8,860
冬キャベツ	15,600	15,700	15,400
冬春きゅうり	2,780	2,760	2,720
春だいこん	4,430	4,440	4,350
秋冬だいこん	21,100	21,100	21,000
たまねぎ	23,900	24,000	25,900
うち北海道産	12,800	12,800	14,600
うち都府県産	11,100	11,200	11,300
冬春トマト	3,880	3,940	3,920
うち大玉トマト	2,850	2,910	2,810
うちミニトマト	1,030	1,030	1,110
冬春なす	1,090	1,090	1,070
春夏にんじん	4,360	4,260	4,150
冬にんじん	7,800	7,860	7,630
春ねぎ	3,420	3,450	3,410
夏ねぎ	5,000	5,000	4,910
春はくさい	1,800	1,840	1,810
秋冬はくさい	12,900	12,900	12,700
ばれいしょ	76,300	77,200	76,500
冬春ピーマン	710	703	710
ほうれんそう	21,000	21,300	20,300
春レタス	4,220	4,280	4,210
冬レタス	7,840	7,780	7,860

（注）2．で見込んだ国内産供給量を過去10カ年の単収の推移から回帰式等により推計した単収で除して推計。

Ⅲ. 今後の生育、出荷及び価格見通し（令和3年1月）について

品目	主産地（ ）書きは令和2年1月の入荷シェア	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し（平年（直近5か年平均）比）	
			1月前半	1月後半
だいこん	神奈川(47%) 千葉(42%)	・主産地において、生育は良好であるが、気温の低下とともに生育が緩慢となることが見込まれるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み	平年並みで推移	平年並みで推移
にんじん	千葉(84%)	・主産地において、生育が平年並みであるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
はくさい	茨城(83%)	・主産地において、生育が良好であり、潤沢な出荷が見込まれるため、1月の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回る見込み。	安値水準で推移	安値水準で推移
キャベツ	愛知(65%) 千葉(19%) 神奈川(10%)	・主産地において、生育は良好であるが、気温の低下とともに生育が緩慢となることが見込まれるため、1月の出荷数量は平年並みで推移する見込み。 ・一方、11月以降に生じた出荷数量の大幅な増加の影響が直ちに解消されないため、1月前半の価格は平年を下回るが、1月後半は価格が平年並みに戻る見込み。	安値水準で推移	平年並みに戻る
ほうれんそう	群馬(38%) 茨城(27%) 埼玉（13%）	・主産地において、生育は良好であるが、気温の低下とともに生育が緩慢となることが見込まれるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

Ⅲ. 今後の生育、出荷及び価格見通し（令和2年7月）について

品目	主産地（ ）書きは令和2年1月の入荷シェア	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し（平年（直近5か年平均）比）	
			1月前半	1月後半
ねぎ	千葉(28%) 茨城(21%) 埼玉(18%)	・主産地において、生育が平年並みであるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
レタス	静岡(36%) 香川(13%) 長崎(13%)	・主産地において、生育は良好であるが、気温の低下とともに生育が緩慢となることが見込まれるため、1月の出荷数量は平年並みで推移する見込み。 ・一方、10月以降に生じた出荷数量の大幅な増加の影響が直ちに解消されないため、1月前半の価格は平年を下回るが、1月後半は価格が平年並みに戻る見込み。	安値水準で推移	平年並みに戻る
きゅうり	宮崎(41%) 千葉(19%) 高知(17%)	・主産地において、生育が平年並みであるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
なす	高知(64%) 福岡(15%) 熊本(12%)	・主産地において、生育が平年並みであるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
トマト	熊本(46%) 栃木(17%) 愛知(14%)	・主産地において、生育が平年並みであるため、12月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
ピーマン	宮崎(47%) 高知(20%)	・主産地において、生育が良好であり、1月上旬は潤沢な出荷が見込まれるため、1月前半の出荷数量は平年をやや上回り、価格は平年を下回る見込み。 ・今後、気温の低下とともに生育が緩慢となることが見込まれるため、1月後半の出荷数量、価格ともに平年並みに戻る見込み。	安値水準で推移	平年並みに戻る
ばれいしょ	北海道(61%) 長崎(26%)	・北海道において貯蔵物中心の出荷であり、長崎県において生育が平年並みであるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
さといも	埼玉(52%)	・主産地において、生育が平年並みであるため、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
たまねぎ	北海道(84%)	・主産地において、貯蔵物中心の出荷であり、1月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。